

# 貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/02/02号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



## 【ゴールドマーケットの現状】

## 貴金属、大幅高値更新のあと急落

## SPDR Gold Shares円建価格



## ゴールドとドルインデックス



前週のマーケットは歴史上最大の上げとその結果で歴史上最大の下げとなり、史上最大の「行って来い」マーケットとなりました。この規模の動きは過去40年でも初めてです。これだけの動きは何らかの特別な要因によって起こるようなことではありません。上昇の局面では、ゴールドの上昇に引き寄せられた短期投資家が多数参入してきたということがあります。前々週のひけは4980ドル台でしたが、月曜日はいきなり5000ドルを超えて、それが決定的になったと思われます。そこからの上昇の勢いは想像を絶する勢いでした。連日歴史的高値を更新し続け、木曜日には5594ドルまで上昇、週初から600ドルもの上昇。昨年末に、2026年は5000ドルに行く可能性も、というくらいの見方に対して、1月にして5000ドルを超えて、その3日後に5500ドルを超えるという上昇となったのです。そしてtoo much too fastの反動がきました。金曜日には売りが売りを呼ぶ展開となりました。ゴールドは5594ドルから一時4695ドルというほぼ900ドルもの下落を記録、一週間の引け値も4864ドルと5000ドルを割り込んで終わりました。この一週間は歴史に残るものとなるはずです。この動きは、上昇に群がってきた短期投資家の投げ売りが原因であり、市場としては健康的な動きだと思います。弱いロングの投げでその分下げて、長期投資家にとってはゴールドがリーソナブルな価格になったと喜ぶべきでしょう。。超短期ですが、バブルがはじけたということです。先週はいきなりの5000ドル超えて手が出せず見てるだけでした。今週は先週の高値を見ているだけに買いを再開できるレベルまで下がったと感じます。筆者は土曜日早朝に起きてすぐとおりあえず米国市場でゴールドETFを買いました。円建てゴールドも歴史的高値27527円をつけてから、23264円まで下げる引けは24200円。3万円を超えた税込み小売価格も26000円台に下がることになります。非常に買いやしくなり、今週は日本ではより現物投資が盛り上がるのではないかでしょうか。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

## 【マーケット・トピック】

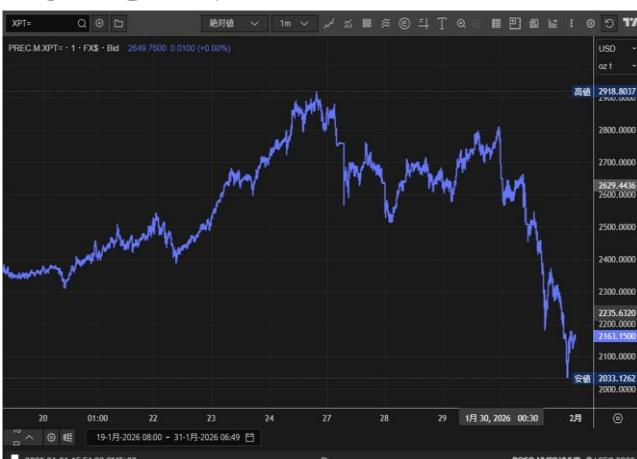
### 「シルバーの現状」

シルバーはゴールドよりもさらに大きな動きとなりました。まさにゴールドの3倍のボラです。上昇も下落も。ゴールドよりも個人短期投資家の参入が大きく、その分買いも売りも激しくなりました。121ドルという驚異的な上昇から77ドルという信じられない下落を演じ、引けは84ドル。これまた上がり過ぎの修正としては覚悟すべき動きでしょう。

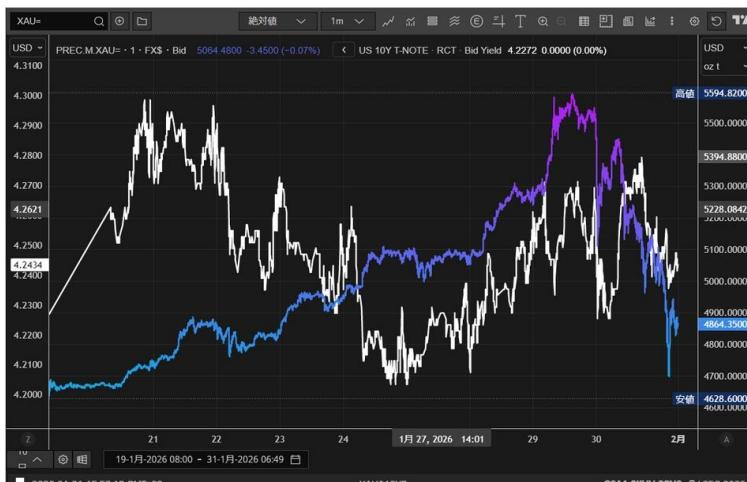


### 「プラチナの現状」

シルバーの次に下落率が大きかったのがプラチナだ。短期投資家の参入率、長期的投資家の割合の違いが各メタルの上昇率と下落率を決めていると考えるとやはりシルバーとプラチナには短期筋がより多く参入していたのであろうと思われます。その分下げも大きくなつたわけですが長期的にはよりよい買いを積み上げるベースとなるのではと思います。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用について、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会 (Japan Bullion Market Association)

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

#### 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のブリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

